

# 長薬同窓会の皆様へ

長崎大学薬学部長 中 島 憲一郎 (昭46)

皆様にはご健勝にてお過ごしのことと拝察致します。

さて、いよいよ長年の懸案となっておりました薬学6年制が平成18年度からスタートすることになりました。長崎大学薬学部では薬学研究と薬剤師教育を共に充実・発展させるべく、創薬研究に重点を置いた4年制と臨床薬剤師の養成教育に重点をおいた6年制を併置することになりました。4年制学部を卒業後は、創薬研究者としての修練を積むために大学院博士課程(2年)と後期課程(3年)が用意されています。また、薬剤師教育6年を終了後さらに臨床薬学を研究するためには博士課程(4年)が設置される予定です。多くの同窓生の皆様には何故薬剤師教育に重点をおいた6年制だけを設置しないのか疑問に思われるかと存じますが、教授会をはじめ、委員会等で繰り返し検討を重ねた結果、将来の長崎大学薬学部は薬学研究と薬剤師養成を両立させる道を選択することが最良であると結論しました。皆様のご理解と一層のご支援をお願い致します。

この欄で何度かお知らせ致しましたが、薬学部は2年にわたって校舎の改修を行い、本年3月に完成を見ました。そこで、すでに皆様にご案内致しました様に、この大改修を記念して、10月23日(土)に薬学部におきまして記念式典と祝賀会を開催致しました。古川淳長崎大学名誉教授・元長薬同窓会長による「薬学部・長薬同窓会 半世紀の歩み」、永田修一日本薬剤師会理事・長崎県薬副会長による「薬剤師を取りまく状況について」、植田弘師薬学部教授による「痛みの分子メカニズム」の3題の講演がありました。長薬同窓会の皆様、地域薬剤師会の皆様および本学部関係者約200名にご出席いただき、盛大にお祝いすることができました。この場をお借りしまして、厚く御礼申し

上げます。

長崎大学が国立大学法人となり、大学の生き残りをかけて各学部がより一層の活性化を図る必要に迫られています。この度、薬学6年制への移行にあわせ、薬学研究・教育の活性化を図る目的で、「長崎大学薬学部教育研究活性化基金」の募金を行っています。この基金は、一つにはアジア地区創薬研究教育支援センターの設置、もう一つは地域薬剤師教育研究センターの設置を目的にしております。長崎大学薬学部と学術交流を行っているアジア地区の大学と一緒に、創薬研究に関する教育・研究を発展させるための支援を行うセンターと、4年制で免許を取得された薬剤師の皆様に6年制とのギャップを埋めていただき、先端薬学を学んでいただくためのセンターにしたいと考えています。これまでに多くの浄財を頂戴致しました。心から感謝申し上げますと共に、この基金を無駄にすることなく有効に活用し、薬学部の創薬教育研究を推進するとともに、地域の優れた臨床薬剤師を養成すべく努力してまいります。なお、募金は12月末まで行っております。本基金の趣旨にご賛同いただき、是非ご協力くださいますよう伏してお願い申し上げます。

同窓会の事務を長年担当いただいている大河内さんが9月末に急病で入院・手術されたことは大変残念な出来事でしたが、幸いにも快復に向かっておられ一安心しているところです。同窓会の皆様にもご健康には十分留意されて、ますますご活躍されますよう祈念致します。

今後とも、長崎大学薬学部へのご支援・ご協力を宜しくお願い致します。